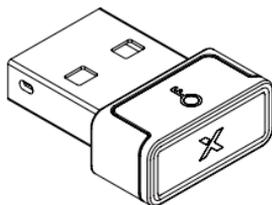


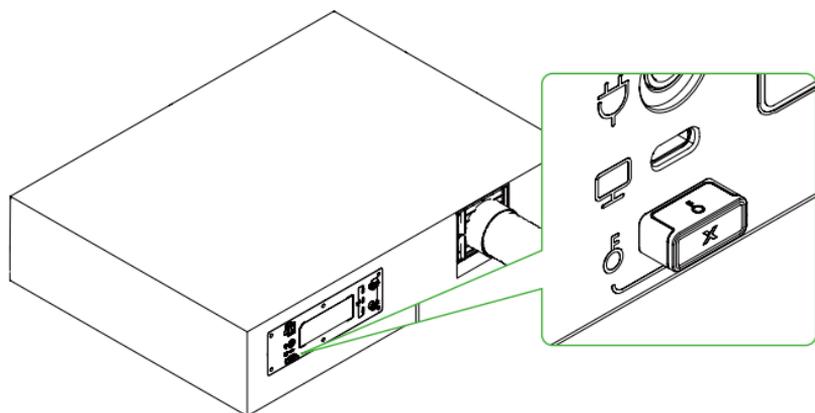
## アクセス・コントロール・キーの使い方



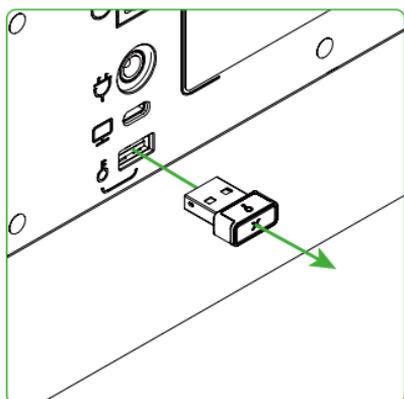
アクセス・コントロール・キーは、レーザー加工機の加工および関連機能へのアクセスを制御するために設計されている。入退室管理キーとしても、リモートインターロックコネクターとしても機能する。

### 機能1: アクセス・コントロール・キー

キーをレーザー加工機に挿入し、加工および関連機能のロックを解除する



レーザー加工機からキーを取り外して、加工および関連機能をロックする



キーを差し込むポートはマシンによって異なる。

### 機能2: リモートインターロックコネクター



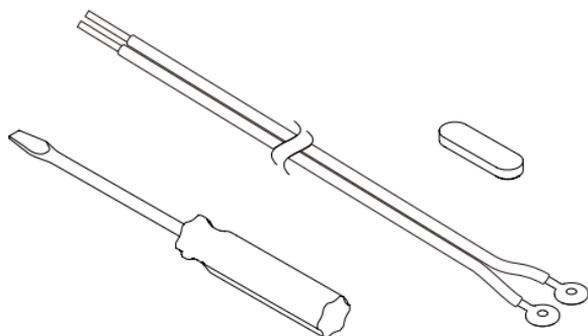
LSOの安全評価および安全制御メカニズムに基づき、アクセス・コントロール・キーのリモートインターロック機能を使用して安全管理エリアを設定できます。

キーには穴のあいた2枚の金属シートと金属リードがあり、これらがキー内の回路を形成している。リアカバーを外し、穴のあいた2枚の金属シートと端子のついた2本のケーブルを使って新しい回路を作ることができる。新しい回路を形成した後、回路を切断して接続することでアクセス制御を実行できる。

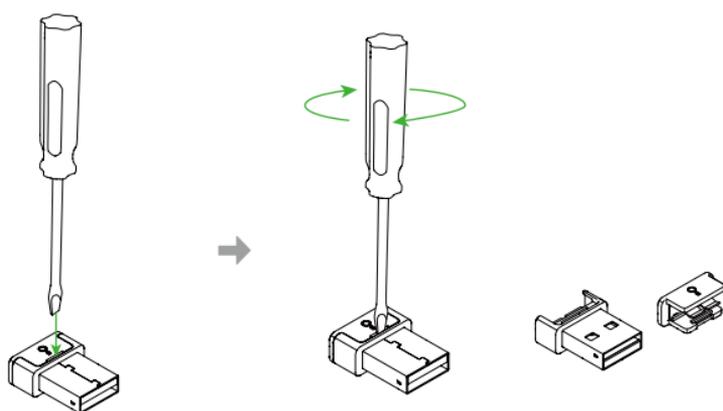
例えば、各ケーブルのワイヤーを鍵の金属シートに接続し、各ケーブルのもう一方の端をドアフレームに貼り付け、ドアに金属シートを貼り付けてドアの開閉で回路を切断・接続する。以下にそ

の手順を説明する。

1. マイナスドライバー、ケーブル2本、金属シートを用意する。

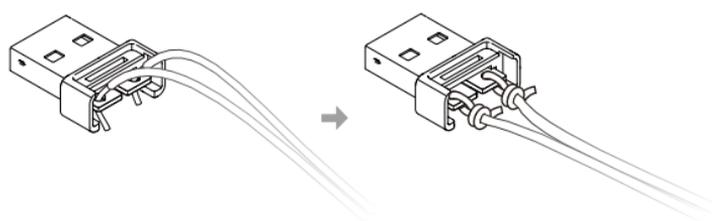


2. キーのリアカバーを取り外します。

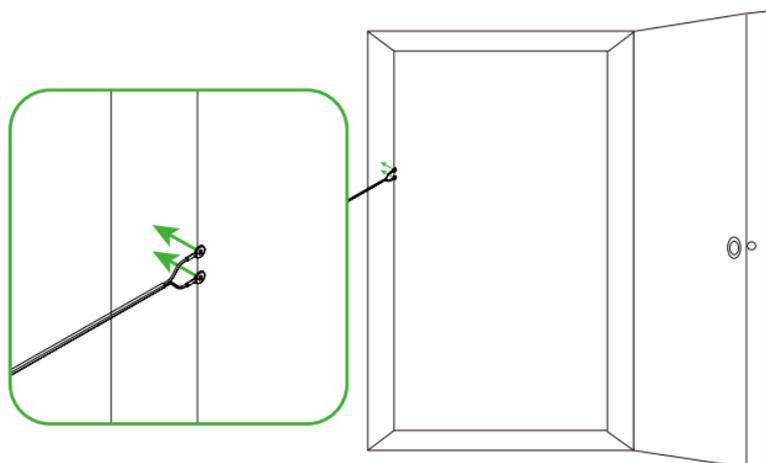


取り外したリアカバーは、次回以降の使用に備えて適切に保管してください。

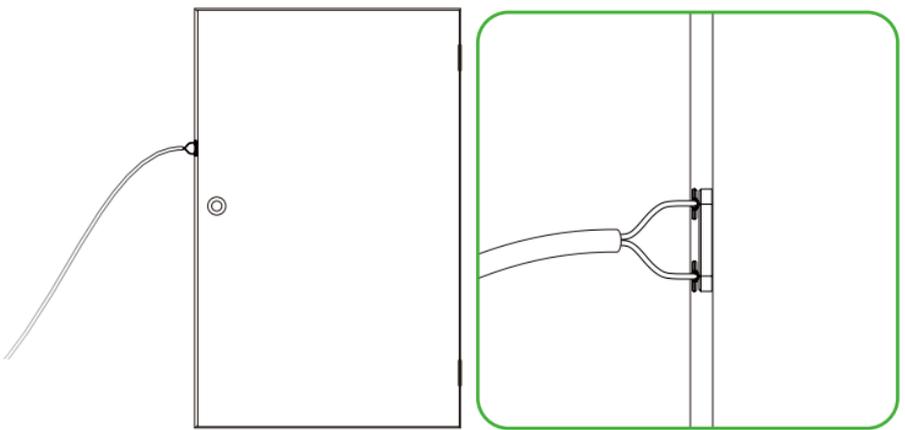
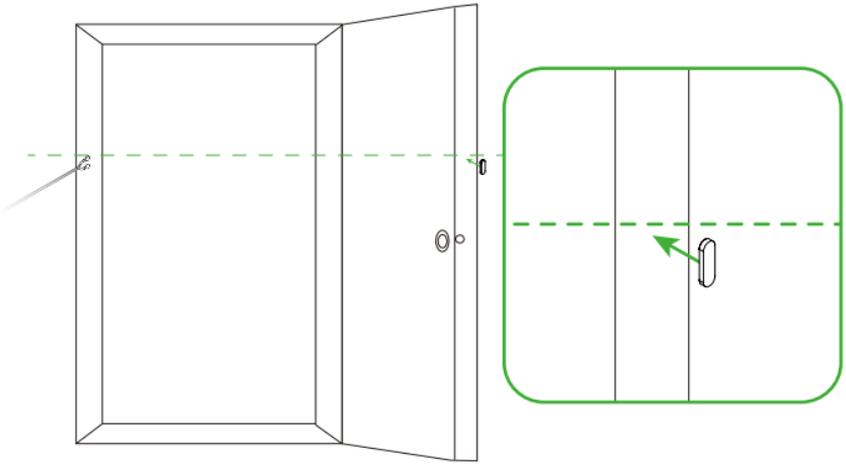
3. 金属シートの穴にワイヤーを通し、ねじって締める。



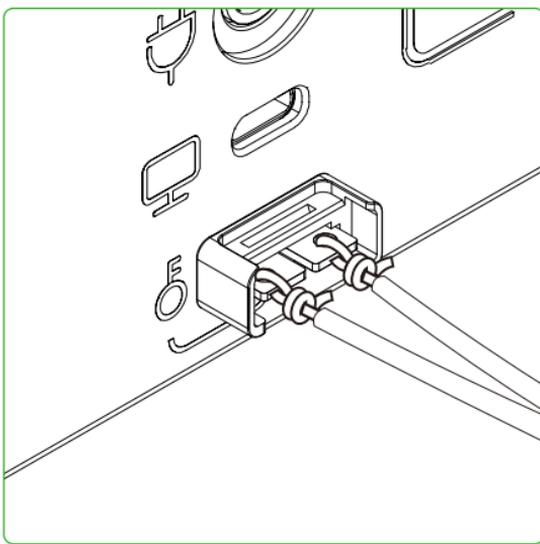
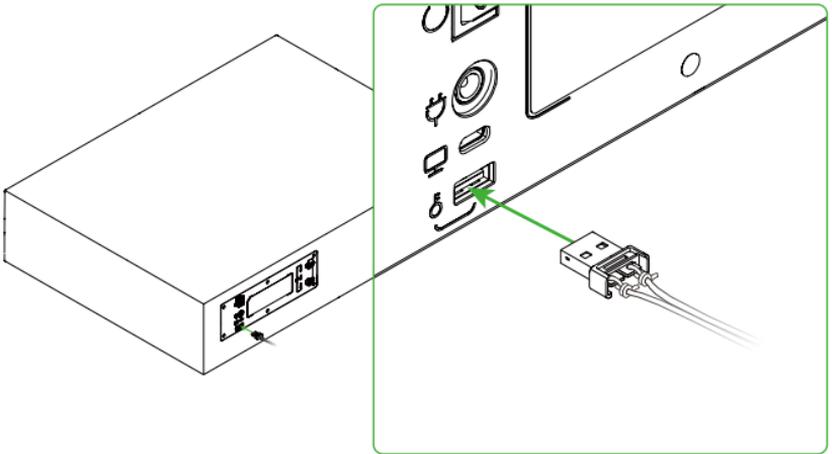
4. ケーブルの端子をドアフレームに貼り付ける。



5. ドアに金属シートを端子と同じ高さに貼り付ける。ドアを閉めたときに、金属シートが2つの端子に接触して回路が完成するようにしてください。



6. キーをレーザー装置のポートに挿入します。



こうすることで、ドアを閉めたときに回路が完了し、処理と関連する機能のロックが解除される；ドアを開けると回路が切断され、処理と関連機能がロックされる。